

## IBM Financial Crimes Insight with Watson

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

### 1. クラウド・サービス

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM Financial Crimes Insight with Watson

IBM Financial Crimes Insight with Watson は、Financial Crimes Insights オファラーの構築ベースとなる、共通のインフラストラクチャーおよびサービスのセットを提供します。IBM Financial Crimes Insight with Watson は、オファリング間で必要な統合を行い、お客様が統合された金融犯罪に関するオファリング・セットを活用できるようにします。

IBM Financial Crimes Insight with Watson は、「クラウド・サービス」の「インスタンス」を提供する必須のコンポーネントです。

IBM Financial Crimes Insight with Watson のサブスクリプションに加えて、お客様は、以下の「クラウド・サービス」のうちいずれかに対するサブスクリプションも取得しなければなりません。

##### 1.1.2 IBM Financial Crimes Alerts Insight with Watson

IBM Financial Crimes Alerts Insight with Watson は、アラート・トリアージ手順の円滑化、誤判定の低減、アラート処理の促進、および事業体が負うリスクのより良い理解による意思決定の改善を目的として、ケース履歴からのデータ、文脈上の根拠のデータ集合、および機械学習機能を活用します。本サービスは、お客様の組織の既存のトランザクション監視システムとケース管理システム間に適合する追加的な構成要素です。

##### 1.1.3 IBM Financial Crimes Due Diligence with Watson

IBM Financial Crimes Due Diligence with Watson は、組織または組織と事業を行うことに関連するリスクの理解を改善すること、および KYC (Know Your Customer) 作業を完了するために要する時間を短縮することを目的として、構造化データおよび非構造化データの発信元からの関連コンテンツをスクリーニング、抽出、およびリンクするコグニティブ・コンピューティング・テクノロジーを活用します。本ソリューションは、さまざまなデータ・ソースの集約により、顧客情報の調査および分析の自動化および標準化を支援します。本サービスの目的は、調査およびデュー・ディリジェンス・アクティビティの完了を合理化することでお客様のエクスペリエンスを改善することに加えて、KYC レコードの品質を向上させることです。

### 1.2 アクセラレーション・サービス

#### 1.2.1 セットアップ・サービス

対応する「クラウド・サービス」が利用できるようにお客様に対してプロビジョニングするためには、以下のセットアップ・サービスが必要になります。

- IBM Financial Crimes Alerts Insight with Watson Set-up
- IBM Financial Crimes Due Diligence with Watson Set-up

### 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護

情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1135B72005B211E7982D0C38141F4056>

### 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

#### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック ([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_overview.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

\*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

#### 3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

### 4. 料金

#### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「エンゲージメント」とは、「クラウド・サービス」に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「イベント」は、「クラウド・サービス」が処理する、または「クラウド・サービス」の利用に関連する、特定のイベントが 1 回発生することをいいます。

- **IBM Financial Crimes Alerts Insight with Watson**

本「クラウド・サービス」において、「イベント」は、1 暦月の間に発信元システムから「クラウド・サービス」へ取り込まれる個々のアラートまたはイベントをいいます。通常、発信元システムとは、取引モニタリング・システムまたはケース管理システムになります。

- **IBM Financial Crimes Due Diligence with Watson**

本「クラウド・サービス」において、「イベント」は、1 暦月の間に「クラウド・サービス」によって処理される親 KYC 「レコード」調査 (同一の検索の繰り返しを含みます。) をいいます。親 KYC レコード調査とは、別の調査に子として関連付けられていないレコードになります。

## 4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

## 5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

### 5.1 クラウド・サービスの有効期限

「クラウド・サービス」の満了または終了の前に、お客様は「クラウド・サービス」について提供された報告機能またはエクスポート機能を使用してデータを抽出することができます。カスタム・データ抽出サービスは、別途契約に基づいて提供されます。

「クラウド・サービス」の満了日または終了日から 30 日以内にお客様からサポート要求を受け取った場合、IBM はお客様のコンテンツの電子コピーをネイティブ・アプリケーション形式でお客様に返却します。